

21. 安全管理・環境対策

21-1 防護柵設置状況



留意事項

□防護柵の構造や安全標識とともに、周囲の状況がわかりやすく撮影されている。

撮影方法

- 工事施工のための安全に要する安全標識、安全施設、及び主要な安全用具が確認できるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 施工場所
- 安全管理施設名・規格を記入する。

21-2 作業足場設置状況



留意事項

- 支保材・鋼製布板・安全ネットの設置状況、固定状況が確認できるように撮影する。
- 黒板を入れて撮影する。

撮影方法

- 各々の部材の固定状況が確認できるように撮影する

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 設置場所
- 材料・規格を記入する。

21-3 誘導員配置状況



留意事項

- 工事用車両を誘導しており、誘導員の役割がわかる。
- 現場と道路状況の関係がわからない。

撮影方法

- 現場と道路状況の関係及び誘導員の配置状況がわかるようにする。
- 安全管理が十分に行われた上で、工事が実施されているか、確認できるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 配置場所
- 誘導員の配置状況を記入する。

21-4 信号・安全標識等設置状況



留意事項

- 撮影対象の信号・安全標識がわかりにくい。
- 手前に余分なスペースが入らないようなアングルで撮影する。
- 安全施設の役割がわかるように車両を入れる等の工夫をする。
- 黒板を手前に置き記入内容が分かるようにする。

撮影方法

- 道路状況と信号・安全標識等の必要性がわかるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 場所
- 設置施設の仕様を記入する。

21-5 安全パトロール状況



留意事項

- チェックしている箇所や目的がわかりにくい。
- パトロール参加者ができるだけ同じチェック箇所を観察している方が安全パトロールの目的がわかりやすい。
- 黒板を入れて撮影する。

撮影方法

- 安全パトロールは工事関係者が実際の工事現場で安全チェックを行い、安全に対する意識や知識を向上させるために行われる。
- パトロールの目的に応じた状況がわかるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 場所
- 安全パトロールの内容（工事箇所）等を記入する。

21-6 安全教育状況



留意事項

- 黒板に教育ポイント、内容の項目等を表示する。

撮影方法

- 安全教育は工事関係者の意識や安全対策・法令の知識を向上させ意思統一を図るために行われる。
- 安全教育の目的に応じた状況がわかるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 年月日
- 参加人数（職種毎）
- 教育内容を記入する。

21-7 消火訓練状況



留意事項

- 黒板に訓練目的・場所を記入して撮影する。
- 黒板が読めるように前におく。

撮影方法

- 訓練状況がわかるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 訓練目的
- 場所・年月日
- 参加対象者、参加人数を記入する。

21-8 騒音・振動測定状況



留意事項

- 測定対象がわかるアングルで撮影されている。
- △ 測定装置が確認できるようにアップも撮影する。

撮影方法

- 測定状況・測定位置がわかるよう撮影する。
- 特別仕様書等で第三者に対する措置として騒音・振動対策・濁水処理対策・濁水対策等が指定されている場合は、各対策の実施状況が確認できるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 場所・年月日
- 測定機器名
- 作業内容
- 工事現場からの距離
- 騒音発生源
- 測定結果を記入する。

21-9 pH 測定状況



留意事項

- 測定状況はわかりやすい。
- 測定対象施設の状況が確認できない。
- 測定対象施設が入るアングルで撮影する。
- 作業内容がわかるように黒板に必要事項を記入し撮影する。

撮影方法

- 測定状況や周囲の状況がわかるように撮影する。

黒板記入内容

- 工事名
- 工種及び種別
- 場所・月日
- 測定方法
- 測定機種
- 測定対象
- 測定結果を記入する。